

オンキョーポケットブル トランジスタラジオ TR-50

- ※特許ノンプレスコーン
- ※強力型スピーカー使用
- ※最新型イヤホン付
- ※高級皮ケース・金属脚付
- ※完全設計プリント配線採用



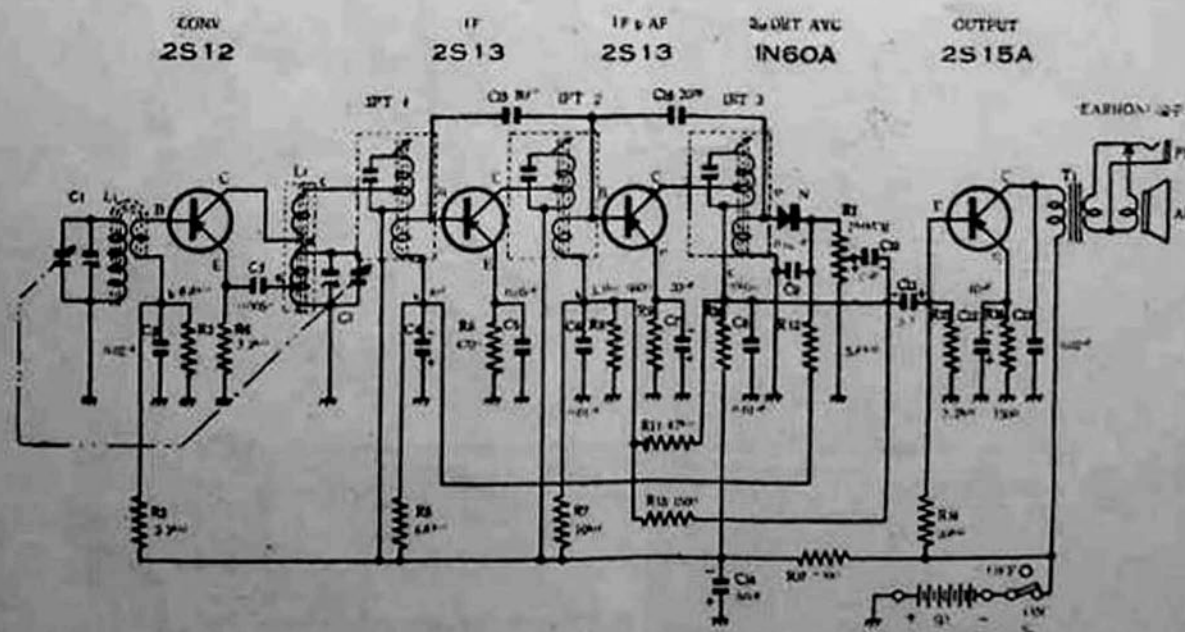
トランジスタラジオとは

トランジスタラジオは電灯線がいらず、真空管もなく、電池代が非常に安くてすむ経済的なラジオで、新時代の革命児ともいえるものです。

トランジスタとはゲルマニウムという半導体元素（元素記号Ge）を99.99999999多程度の高純度にして、耐熱、耐震、耐湿性の容器に入れ、今までの真空管に代って検波・増幅等を行わせる最も新しい方式のものです。これを使ったトランジスタ

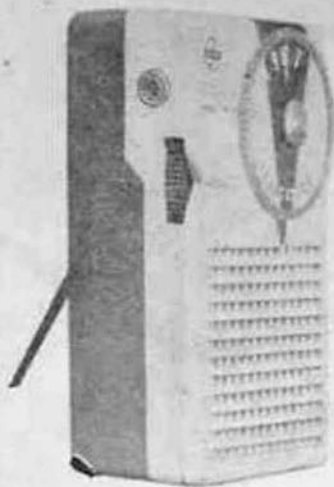
ラジオは真空管式と異って、フィラメントを熱するための電源も必要ありませんから、A電池・B電池といった二種の電池も不要です。また現在ラジオ・テレビに用いられているミニチュア管と比べると、大きさは数分の一乃至数十分の一ですが、その電氣的、機械的性能は真空管に優るとも劣らないものです。ポケットやハンドバッグに入れて携帯用に、或は机の上にホームラジオとして、本機の美しい音質をお楽しみ下さい。

配線図



◇ 定 格 ◇

受信周波数帯	540~1,600KC		
中間周波数	455KC		
電 源	BL-006P 積層乾電池(9V)1個		
スピーカー	2½吋強力型スピーカー		
トランジスタ	ゲルマニウムトランジスタ (PNPアロイジャンクションタイプ)		
周波数変換	2S12	1
中間周波増幅	2S13	1
中間周波増幅・低周波増幅	2S13	1
検波・AGC	1N60A	1 (ゲルマニウムダイオード)
出力増幅	2S15A	1
マグネチックイヤホン1箇附属			
皮ケース附属			
寸 法	高さ 105.7%	横 66.5%	奥行 33.8%
重 量	0.3kg (電池共)		



TR-50 の 特 徴

1. すぐれた性能

トランジスタ4個とゲルマニウムダイオード1個を使ったスーパーヘテロダイン方式のラジオですが、性能は従来のトランジスタ6個とゲルマニウムダイオード1個使用のセットと比べても何ら変らない優秀さです。

2. 美しい音質

音質を誇るオンキョーの2½吋強力型スピーカーを使用しておりますから、大型ラジオにも劣らぬ美しい音質をもっております。

3. プリント配線採用

内部配線は電線を用いないプリント配線(印刷配線)を採用しておりますから、製品が均一化され、しかも故障は殆ど皆無です。

4. 新型イヤホン付

イヤホンが付いておりますから、お一人で静かに放送を楽しんで頂けます。

なおイヤホンにはご使用の便を考慮して新型耳かけがついておりますからイヤホンをつけたままで動いても落ちません。

5. 便利な金属脚付

金属脚がついておりますから、机の上に立ててお聞き願えます。

6. 僅少な電池消費量

積層乾電池「BL-006P」1個で約50時間ご使用になれ、電池の消費量はごく僅かですみます。

7. 垢ぬけのしたデザイン

キャビネットは美しい色彩のプラスチック製でポケットの中に、ハンドバッグの中に、脚を立てれば居間のホームラジオになります。

8. 堅牢な皮ケース付

本機は堅牢な皮ケースが付いております。

機 構 図



イヤホン御使用の場合

特殊なマグネチック型イヤホン使用です。イヤホンを耳にさしこんで、先端のイヤホンプラグをセット左側面の差込口にさし込んで頂きますと、自動的にスピーカーが切れてイヤホンから放送が流れて参ります。周囲が騒しい場合や、お一人で静かに放送をお聞きになりたい時に便利です。

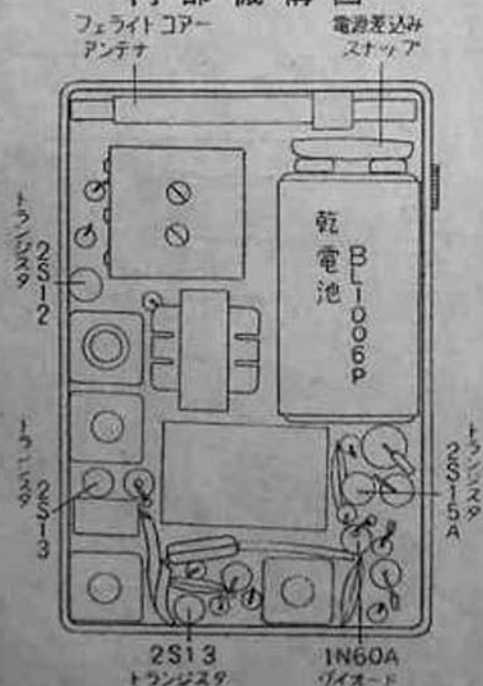
電池交換の場合

キャビネット裏蓋ははめこみになっておりますから左右に引っぱってはずしてから、古くなった電池とスナップをはめ替えて元の通りに挿入して下さい。この時電源は必ず切ってOFFにしてください。電源を入れたままで逆に接触させますと故障を起すことがあります。電池は粗悪品をお使いになりますと、寿命が短かく、漏液などのために内部を傷めますから、よく吟味して下さい。長期間ご使用にならない場合は、乾電池がまだ新しくても取はずしておいて下さい。

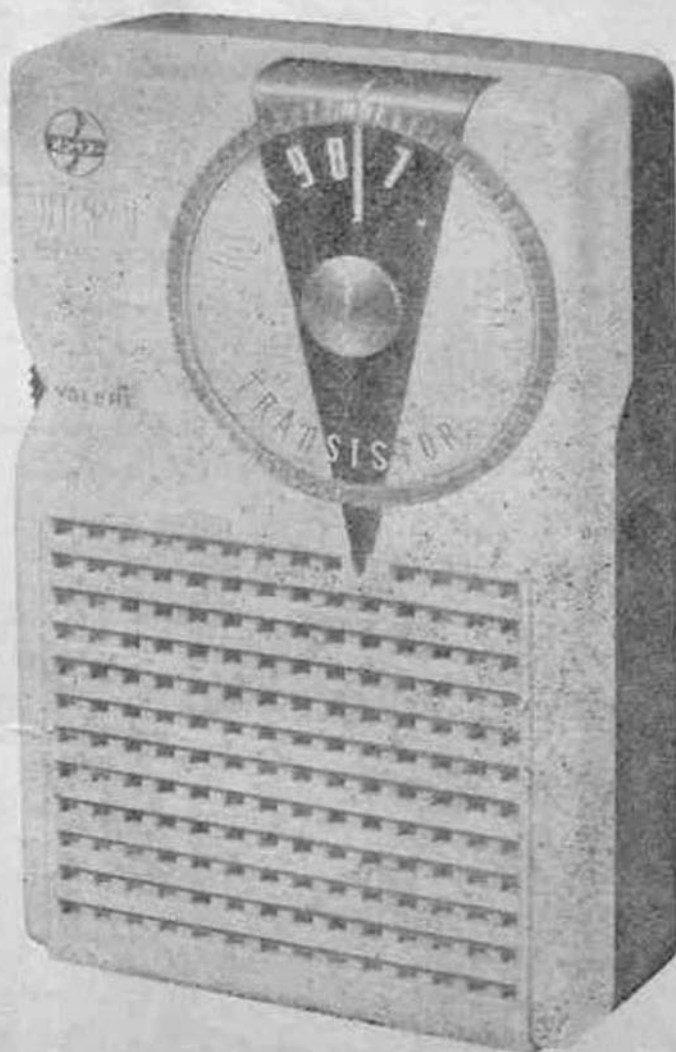
脚部の扱い方

本機には裏面に金属脚が附属しております。お使いになる時は脚の下部を引き出して頂きますと、適当な傾斜をもってセットが立ちます。セットをお蔵いになる時は金属脚を静かに指で押して頂きますと、スプリングによって自動的に元の位置におさまります。

内部機構図



TR-50 の実物大



御注意

1. TR-50型トランジスタラジオにはフェライトコアアンテナが内蔵されておりますが、ケースは縦型になっております。従ってアンテナもこの位置で感度が高くなるように作られておりますから、前後に倒しても感度は変わりませんが、左右に傾けると感度は落ちます。
2. ラジオを切る場合は、①のツマミをOFFの位置まで廻して下さい。電源が切れるときはカチャと音がします。OFFにせずに、音量を最小にしたままにしておきますと、音は聞えませんが、電源は入ったままですから電池は消耗致します。
3. キャビネットはスチロール樹脂を使用しております。長期間ご使用になって汚れがついた場合は石鹼水を柔い布につけて拭いとって下さい。ガソリンやシンナーなど、石油製品は絶対にお使いにならないようにして下さい。